

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2017年9月4日号 東京発行 NO.245

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 <http://www.taiwannews.jp> E-mail:info@taiwannews.jp
 ■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350 円(税込) 定期購読 12 回：3,500 円(税込) / 24 回：7,000 円(税込) ©郵便振替：00140-4-594168



「南台湾 color4」市長県長が来日、観光PR



記念撮影(左から屏東県の潘孟安県長、高雄市の陳菊市長、台南市の賴清徳市長、澎湖県の陳光復県長)

高雄市政府観光局主催による南台湾の観光PRイベント「南台湾 color4」が8月7日、ホテルイースト21 東京(東京都江東区)で行われ、高雄市の陳菊市長、台南市の賴清徳市長、屏東県の潘孟安県長、澎湖県の陳光復県長及び関連業者ら約100人が来日し、南台湾観光の



座談会式で南台湾のプロモーションが行われた

プロモーションを行った。

台湾の地方政府同4都市が共同で海外観光プロモーションを行うのは初めて。高雄、台南、屏東、澎湖の各都市をひとまとめにした5日間のツアーを企画し、来場した旅行業者向けに南台湾観光の魅力伝えた。

同イベントでは、文字通り多彩な観光イメージが示され、夜景が綺麗な高雄は「紫」、歴史の象徴である赤い壁が至る所にある台南は

「赤」、牧場が多い屏東は「緑」、そして離島である澎湖は海に囲まれ空も広いことから「青」をテーマカラーとした。

当日は、台湾15年在住で、台湾の魅力を伝える続けるカリスマコーディネーターの青木由香さんが司会進行を務めるなか、4都市の市長県長が座談会形式でのプロモーションを行い、都市の魅力、観光の発展戦略、資源の統合、観光における期待について語った。

台南市の賴市長によると、台南には古い建物が多く、台湾の持ち味があるという。人が暖かく、「自分の家に戻ったような居心地の良さ」が台

南の魅力であると述べた。また、冬かたないのが特色である屏東は、原住民の伝統文化があり、客家集落が多い。屏東県の潘県長は、「リ島にも負けないリゾート地もあるのでは非遊びにきてほしい」とした。

なお、澎湖県の陳県長は、日本統治時代の1906年に澎湖馬公港で発生した「松島(防護巡洋艦)の爆発事故」という事故を説明。この事故は、松島艦内の火薬庫が爆発した事により松島は爆沈し、約200人の日本海軍が亡くなったというもの。馬公市内には慰霊碑「松島艦遭難記念碑」があり、陳県長は、「日本人の歴史を知るためにも、南台湾、そして澎湖を訪れてほしい」と述べた。

一方、高雄市の陳市長は、高雄国際空港は台北の桃園空港と比較して圧倒的に離発着便数が少ないため、交通部民用航空局の協力が必要だとした。将来的にはLCC(Low Cost Carrier)の普及が重要であると述べ、自由旅行による南台湾への日本人観光客増加に期待した。

なお、青木さんは企画された5日間のツアー内容についての詳細を説明したほか、「南台湾には人懐っこく親切な人がたくさんおり、先日南台湾に訪れた際に台湾に15年住んでいて忘れかけていたものが一瞬で蘇ってきた」と話した。

TOPIC

日本語版

- 宮崎県知事と県議長の表敬訪問 2面
- 魏徳聖監督に独占インタビュー 6面

中国語版

- 日本千葉台湾商會第3屆會長交接 3面
- 第12屆台日學生會議召開 百位大學生齊聚東京交流意見 4面
- Y's Cabin大阪難波店開幕 平價也能享有頭等艙服務 6面

WEBでもニュース記事が読めます
<http://blog.taiwannews.jp/>



同イベント終了後には懇親会も行われ、両国業者間の交流を深めたほか、抽選会では、4都市の業者幹部により抽選で当選した日本旅行業者にホテル宿泊券など様々なプレゼントが手渡された。

4都市合同展覧会開幕! 記者会見に市長県長が出席



各エリアごとに特産物や小物が展示された

南台湾4都市(台南市・高雄市・屏東県・澎湖県)の地方自治体及び台湾交通部観光局主催の合同観光展覧会「南台湾、新体験」

が8月8日から13日まで、東京千代田区mAACH ecute(マーチエキュート)で開催された。同展覧会では、飲食と生活の分野における南台湾4都市それぞれの特産品及び特徴のある小物雑貨など、ローカル文化が反映された約100点を揃え、南台湾の風土と人情の魅力を来場者に伝えた。

初日の8日には同展覧会オープニング記者会見が開かれ、高雄市の陳菊市長、台南市の賴清徳市長、屏東県の潘孟安県長、澎湖県の陳光復県長が出席し、それぞれ都市の魅力をPRした。なかでも高雄市・呉宝

春麦方のパンや澎湖県のサボテンケーキ、屏東県・福湾荘園のチョコレート、台南市の楊士毅氏による「幸福風向雞(幸せの風見鶏)」の切り絵作品など、今回初めて日本出展となった品物も数多くあり、同展覧会において日本人のまだまだ知らない南台湾のプロモーションを図った事も注目されていた。

なお、展示会に加え、同12日と13日の2日間に渡り、台湾に精通する4人の専門家、カメラマンの川島小鳥氏、作家の青木由香さんと片倉佳史氏、さらに建築家である渡邊義孝氏を招いて講演も開かれた。

台南市の賴市長によると、南台湾には3つの魅力があるという。はじめに、南台湾には台湾の持ち味がある事に言及し、同展覧会ではその台湾人の持ち味やライフスタイル、文化溢れる特産品の展示がされているとし

た。さらに、南台湾はグルメの資源であるため、南台湾で食べるものは、一番新鮮で美味しく、そして安く手に入るという。最後に南台湾は景色が綺麗であると述べた。

一方高雄市の陳市長は、南台湾はお米や果物など台湾の農業において重要な場所だと強調。陳市長は、「日本人観光客が台湾南部を訪れる際は、「1日ファームツアー」を案内したい」とした。

会見の司会役は、台南市親善大使としても活躍している女優で作家の一青妙さんが務めたほか、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、国分寺市の内藤達也副市長、仙台市の西澤啓文市議会議員も出席した。以前高雄市長を務めていた謝

代表は「南台湾に台湾本来の味わいが多くつまっている事は確かである。本当の素晴らしいグルメの美味しさを感じるためには、現地に赴いて体験してほしい」と述べた。



記念撮影(左から台南市の賴清徳市長、高雄市の陳菊市長、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、屏東県の潘孟安県長、澎湖県の陳光復県長)

台湾との関係をさらに構築

台湾との交流に取り組む日本の地方議会議員らで結成された「全国日台友好議員協議会」が主催する「第3回日台交流サミット in 熊本」が8月23日、熊本ホテルキャッスルで行われ、同協議会は「熊本宣言」を発表した。同宣言では、今後も日本地方自治体と台湾各都市との

経済、観光、文化等の各分野における官民交流の促進を図り、日台間の友好関係をより一層深めていく事を誓った。

今年は台湾から高雄市の台南市の市議会議員ら49人が来日し、日台双方の関係者ら総員約350人が出席した。

同協議会・会長のふじた和秀名古屋市長議員は、「過去2回の経験と実績をしっかりと将来に繋げていくためにも、今後の活動において、台湾との関わりをさらに深めていく取り組みをしていきたい」と主張した。一方、今回熊本県での開催については、昨年4月に発生した熊本地震の早期復興の意味も込められているとし、同サミット実行委員長である熊本市の原口亮志市議会委員は、地震発生時、台湾がいち早くお見舞いと支援物資を提供してくれた事に対し、「復興を成し遂げる事が台湾の皆さまへの恩返しである」と話した。

なお、同サミットの来賓には台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、台北駐福岡経済

文化辦事処の戎義俊処長、亜東親善協会の大江康弘会長らが参列した。謝代表は「熊本に着いてより、車の窓から活力溢れる街を拝見し、ほとんど復興が完了している光景が目に入り、嬉しく思う」と述べた。一方大江会長は、安倍晋三首相より「台湾は日本にとって特別な国である。その事をしっかりと念に置くように」との激励の伝言を報告した。

さらに同日、歓迎交流会も開催され、日台関係者同士で団らんし、また、熊本県ゆるキャラの「くまモン」や和太鼓演奏などのステージアトラクションも行われるなど、日台交流促進の場となった。

来賓として出席した熊本県の小野泰輔副知事は、熊本地震発生後、海外の観光客が9割減少した事に言及し、「台湾の

チャイナエアラインだけは震災後約1か月で就航を開始した。そのリスクを顧みない行動が本当に嬉しかった。熊本市民はその恩を決して忘れない」と話した。

なお、同サミットは、日本と台湾の友好増進を目的に組織化されている会合。これまで、2015年に石川県金沢市で「金沢市日台親善議員連盟」の呼びかけにより9市議が集い初回の会合が開かれた。その後の2016年5月、現在の「全国日台友好議員協議会」として

正式に発足し、同年9月に和歌山県和歌山市で二回目となる会合が開催された。現在は、国と並行して地方レベルで台湾内各都市との連携を図り、相互理解に努め、交流を推進する事を目的としている。なお、来年の同サミットは台湾高雄市で開催する予定だ。



「日台交流サミット in 熊本」開催!



「日台交流サミット in 熊本」さらなる友好関係を構築

エバー航空
航空業界 最高評価
SKYTRAX 5スターエアライン

エバー航空についての
おトクな情報はこちらをチェック!

HP

Twitter

Facebook

＝謝長廷代表ら、宮崎県で交流を深める＝

宮崎県知事と県議長を表敬訪問



記念撮影(台北駐日経済文化代表処謝長廷代表(左)・宮崎県河野俊嗣知事)

台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表と台湾知日協会(台湾にある日本に理解を持つ台湾人民間団体)役員らはこのほど宮崎県庁を訪れ8月25日、宮崎県の河野俊嗣知事を表敬訪問した。

謝代表一行は、河野知事と意見交換を行い、今後の交流について話した。河野知事は、先日行われた県長会議で今後台湾へ教育旅行を推進していく方向性となった事を報告し、「食べ物や治安に関しても、日本人が一番安心できる台湾との関係をさらに深めていきたい」と述べた。また、現在熊本大震災以降、宮崎ー台北の飛行機路線が減便したとの現状に、いち早く週3便に戻せるよう努力していくとした。

一方謝代表は、「高千穂は価値のある観光地である。日本の歴史や文化に触れたかったら、宮崎県に足を運ぶべきだ」と主張したほか、「日本と台湾は歴史的絆があり、今になっても良好な相互関係をさらに深め、次の世代に伝えていくのが代表の使命である」と述べた。

なお、台湾知日協会とともに台湾から来日した台中市政府の何春樹顧問は、2018年に開催される「台中フローラ世界博覧会」のPRとして、台中市の林佳龍市長のメッセージと同博覧会の案内書を含めた資料を河野知事に手渡した。

宮崎県と台湾は若い世代のスポーツを通じた交流が盛んであり、宮崎県と台湾新竹県の少年野球チームが年に一度国際交流試合を行い、今年で7年目となったほか、昨年と今年の8月には、ソフトボール台湾U16(16歳以下)代表チームを宮崎市に招いて、強化合宿の実施などの実績がある。

台湾が和牛輸入解禁に、宮崎県産ブランド拡散へ

謝代表一行は同日、宮崎県議会の蓬原正三議長及び宮崎県議会日台友好議員連盟の星原透3代目会長にも表敬訪問し、その際蓬原議長は、台湾が日本産和牛輸入を今年9月に解禁する見通しとなった事に触れ

た。宮崎県産の和牛は5年に一度開かれる和牛の優秀性を競う大会「全国和牛能力共進会」で2度連続優勝しており、星原会長は「宮崎県産和牛を台湾に輸出できるよう十数年前より台湾に何度も赴き、動いてきた。今回見通しが立って本当に嬉しい」と述べた。さらに、蓬原議長は検疫の問題についても、HACCP(危害分析、原材料から出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題を検討し発生を防止または減少させる管理方式)もしっかりしているため、「安全である」と主張した。

一方、河野知事も和牛解禁について触れ、「和牛を食べに宮崎に訪れる台湾人観光客も多く、今後は直接台湾にも提供でき、宮崎県にとっても非常に嬉しい事である」と述べたほか、「和牛以外にも3年連続生産量一位となった宮崎県の焼酎や、伊勢志摩サミットでも使用された宮崎県の最高級キャビアなど、「宮崎ブランド」を台湾にどんどん届けていきたい」と主張した。



謝長廷代表(前列左)ら蓬原正三議長(前列右)と記念撮影

高千穂日華親善協会、謝長廷代表一行を歓迎

高千穂日華親善協会はこのほど、日台交流サミットのために熊本県を訪れていた台北駐日経済文化代表処(以下＝代表処)の謝長廷代表率いる代表処幹部ら9人を歓迎し8月24日、ホテルグレイトフル高千穂で歓迎会を行った。

同協会の佐藤哲章会長は、飛行機の宮崎ー台北線が現在週に2便のみしか就航していない事に言及し、「週3便に増やせるよう努力していきたい」としたほか、「台湾の観光協会と姉妹提携していく」と今後の目標を語った。

一方、同交流会に参加していた宮崎県の延岡日台友好親善協会の塚本博文会長は、台湾を訪れた際「リップンチェン(日本精神、統治時代に日本人が残した道徳や責任感)」が、しっかりと若い世代に受け継がれている事に感激し、「民間の力で台湾を盛り上げよう」との思いで同協会を設立した、と背景を説明した。さらに、宮崎県と台湾の具体的な交流例を挙げ、今年の3月に宮崎大学と台湾の国立嘉義大学が大学間学術交流協定を締結し、同8月には台湾嘉義市の球場で野球部交流戦を行った事を報告した。

なお、台湾一行は同日、高千穂峡やあまてらす鉄道など高千穂町の有名観光地を巡り、同町の観光資源への理解を深めていた。

宮崎県に初めて訪れた謝代表は、数々の絶景を目の当たりにし「さすが価値ある



台北駐日経済文化代表処謝長廷代表と高千穂日華親善協会が交流する

観光地だ」と絶賛し、高千穂町で多数の店外に台湾の国旗が掲げてあった事にも言及し、「高千穂町の人たちの熱意が有難い」と述べた。

同協会は、約27年前に宮崎県高千穂町の歯科診療所に台湾から歯科医を招いた事をきっかけに、旅館や飲食の経営者ら約30人の有志によって結成された。近年では同町以外にも、隣町の五ヶ瀬町観光協会なども加わり、年々会員の輪が広がっているという。結成後は、年に一度の定期総会をはじめ、国慶節の訪台や、台湾にある同協会と相似した台湾人団体と交流を図るなど、台湾との関係を育んでいる。

また、2005年の5月に同町は台湾の花蓮市と経済観光友好交流宣言書を締結し、日本を代表する景勝地「高千穂峡」と花蓮市の「太魯閣渓谷」などへの相互観光客増加を図る事にも成功、さらに、来月には花蓮市の代表らが同町に訪問するという。

日台連携プレーでASEAN進出へ



TAITRA 市場開拓処 専門委員の廖隆銘組長

台湾では目下、ASEAN(東南アジア諸国連合)との経済貿易、投資、民間交流、教育文化や相互友好交流に目標を掲げている。

この現況のなか、台湾貿易センター(以下:TAITRA)は8月3日、「ASEANによる日台ビジネスセミナー」を川崎商工会議所(神奈川県川崎市)で開催し、日本との連携がASEAN進出を図る上で重要であるとした。

TAITRA 市場開拓処専門委員の廖隆銘組長によると、ASEAN進出に際し、互いに重要な貿易パートナーである日本と台湾が協力し連携する事は大きなメリットがあるという。また廖組長は、台湾企業では2～3年前より、主にオートパーツと化粧品などの

製品において、まず台湾で部品を調達し、その部品を日本に持ち込み日本で製造、その後「日本ブランド」として東南アジア諸国に輸入するという動きがあると説明。これは日本には高品質なブランド力、企画力、製造力があるからだ、と強調した。さらに、日本側にとっても台湾の販路を利用する事で市場拡大が可能になるとし、このほか低コストも実現できるなど、海外進出のリスク回避も可能であると主張した。

また、三菱総合研究所の田口友子さんは日本側のメリットとして、台湾企業の大量生産能力の利用、さらに、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポールなどのASEAN諸国に約3500万人の華人と華僑が居住している事から、幅広いネットワークを活用する事で、現地企業や当局との高い交渉力が見込まれ、販売チャンネルの拡大も可能である、としている。

なお、三菱総合研究所は経済産業省より各種調査を受託されており、台湾との東南アジア等、第三国市場における産業協力の面において、日本企業と台湾企業が連携する事でASEANに進出する上での現状課題が解決され、さらに市場の拡大を目指す事

が可能であるとの仮説を立てている。

また、同所の陳瑛齡さんは、日本と台湾のみのメリットを考えるのではなく、第三国のメリットも考えなければならないと強調。現地ニーズ把握や生産効率化、現地法規制に精通したプレーヤーとの関係構築も重要だとした。

同セミナーは、台北駐日経済文化代表処横浜分処の陳恆宏処長がTAITRAに委託して行った催しであり、セミナーに出席した陳処長は「日台共同新商品開発や生産規模の拡大、また、リソースの共有においてグローバル市場における競争力を一層強化するに止まらず、互いに補完してさらなる商品を生み出す事が可能になる」と日台の連携プレーに期待感を示した。

なお、台湾に本社を置くアドバンテックジャパン、UMEC JAPAN、TECO JAPAN、さらに、親会社が台湾である東京スター銀行がそれぞれプレゼンテーションを行うなど自社をPRし、日本企業へ事業協力を求めた。

セミナー終了後には日台企業ビジネス交流会も行われ、企業同士、相互理解を深めるなど、産業提携商談の場となった。

日台相互投資協力 ～ビジネスチャンス拡大へ～

台湾の経済部投資業務処主催の台湾投資セミナーが8月2日、東京都千代田区霞山会館で行われた。

米ビジネス環境リスク評価会社(BERI)によって2016年に行われた第1回投資環境リスク評価報告において1位にランクインした台湾。同セミナーを皮切りに、多くの日本企業に台湾の投資環境を理解してもらい、日台相互投資協力でビジネスチャンス拡大が期待される。

台北駐日経済文化代表処経済組の蔡偉淦副組長によると、2016年の台湾の経済成長率は1.5%とゆるやかな成長を遂げており、2017年には2.6%と見込まれているという。なお、2017年

5月時点の統計では、日本から台湾への投資が200億米ドルを超えている、という。また蔡組長は、2015年11月26日に締結した、日本と台湾の所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための取り決め「日台租税協定」により、以前より投資がしやすい環境であるとも主張した。

経済部投資業務処第二科の林美杏科長は、台湾投資の機会として、現在台湾政府が推進している5つのイノベーション産業(グリーンエネルギー科学技術、アジアシリコンバレー、スマート機械、バイオ医薬、国防科学技術)を挙げた。林科長は「この5つのイノベーションにおいて、日本の優れた技術を台湾に持っていく事で相互協力ができると思う。多くの台湾企業が日本企業の投資を求めている」と主張した。さらに、台湾で投資するためのネットワークが完備されており、専門スタッフによる投資指南や、地方政府による企業誘致と連携、土地、電力、手続きのプロセスについての



台湾投資セミナーには多くの企業が参加した投資障害排除などのサービス提供も行っている事なども説明した。

一方、日本にも台湾投資の際のサポート窓口としてジャパンデスクがある。約23年前より「野村研究所」が同窓口を受託し、情報提供などを行っている。同研究所の杉本洋氏によると、現在台湾政府が「新南向政策」を打ち出している事から、日本におけるビジネス機会として、小売り、製造業、不動産産業など自社事業を台湾でカスタマイズし、東南アジアに進出する事で、さらなる事業拡大が見込めるとしている。

ユニバーシアード 台北大会開幕！



ユニバーシアード台北大会開幕！(写真提供：自由時報)

夏季ユニバーシアード台北大会の開会式が8月19日、台北田徑場(台北陸上競技場、台湾台北市)で行われた。大会キャッチフレーズである「For You For Youth(あなたへ、若い世代へ)」を具体化するため、開会式は「若者」を主体に構成された。また、プログラムの企画立案、パフォーマンスのいずれも、各分野で優れた才能を持つ台湾の若者の力が集結した内容だった。

同大会は、国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する学生(大会が開催される年の1月1日現在で17歳以上28歳未満)を対象にした国際総合競技大会であり、2年毎に開催される。なお、今年は同19日～30日の12日間行われ、野球、バレーボール、体操含む19競技275種目とさまざまな分野で争った。

台北市の柯文哲市長は開会式で、「“青春”とは勇敢な曲であります。大会の12日間は、自分を越え、前へ進み、夢を叶え、絶対にあきらめないでほしい!そして、運動によって刻まれた“青春の情熱”は今後あなたたちにとって、台北で一番に残る思い出となるでしょう」と述べた。

また、蔡英文總統によって開幕宣言が行われたほか、採火式では、卓球の江宏傑選手、バドミントンの戴資穎選手、弓術の譚雅婷選手が最終ランナーを務め聖火台へ、そ



ローラースケート女子楊合貞(右)と男子黃玉霖が金メダル！(写真提供：自由時報)

の後元プロ野球の陳金鋒選手がバットを振り聖火台に点火する、という演出が観客からの脚光を浴びた。

一方、開幕式当日、蔡英文政權の政策に反対するデモ隊が会場近くに迫り、選手の入場を妨害するトラブルも起きた。日本を含む多くの国・地域の選手団が入場行進に参加できなくなり、警察がデモ隊を排除した後、選手団は改めて行進した。台湾メディアによると、国際的なスポーツの祭典で、選手の入場がデモで妨害されるのは異例だという。なお、抗議デモは、蔡政権が進める年金制度改革に反対する元公務員らが組織したとみられる。

台湾メダル獲得数

	金	銀	銅	総数
	26	34	30	90



台湾の音楽や文化を堪能「台ワンダフル」 ＝ 今年は無料開放で大盛況！ ＝



同イベント出演者

(左から舒米恩、米非、小球、小玉、魏德聖監督、陳惠婷、鼓鼓) Musicの部では台湾エレクトロバンド MAGIC POWERのDJ担当「鼓鼓(グーグー)」とシンガーソングライターである「陳惠婷(フィティン・チェン)」が歌や楽器でのパフォーマンスを行ったほか、同イベント目玉企画である、台湾映画「52Hz I love You(52Hzのラヴソング)」のメインキャスト4人(小玉・小球・舒米恩・米非)によるミニライブでは、最後に劇中歌「命運還是機會」を歌うなど会場は大盛況だった。

さらに、同キャストによるライブ終了後には、同映画の魏德聖監督も登場し、同映画が12月16日よりユーロスペースほか日本全国順次公開される事が発表された。一方 Cultureの部では、台湾の様々な物販の販売などが行われた。台湾で何気なく目にする文房具や雑貨などの販売を行った「フェリシティ」は、日本人にも親しみやすいものばかりを集めました、とした。また、ホー

これまでのファンに加え、気軽に台湾の音楽に触れる事ができ、多くの人に台湾の音楽の良さを知ってもらいファンになってほしい」との思いも込められた。その結果、Musicの部が始まる4時間前には入口には行列ができていた。

ムドラマチャンネルとアジアドラマチックからは、「スカパー！」で現在放送中や今後放送予定の台湾ドラマの紹介や、豪華な景品が当たる抽選会なども行われていた。

なお、開始前には同イベントの記者会見が行われ、主催者と出演者全員が登壇し、ひとりひとり挨拶した。主催である台北駐日経済文化代表処の郭仲熙副代表は、「世界平和を構築する上で、“武器”より“楽器”。音楽は世界平和に貢献できると思う」と述べ、近藤社長は、「音楽や文化を通じて、それぞれの国の人たちが国境や言語を超えて交流する事に期待」と話した。

また、同イベント顧問でもある葉代表人によると、この4年間で20組以上の台湾歌手が同イベントに出場しており、これまでレコード会社の協力を得てアルバム制作などを行ってきたという。さらに、日本は海外の音楽の受け入れが早く多様性があり、一方、台湾の音楽は日本に比べてオープンであるため、それぞれの良さを刺激しながら今後は音楽制作を行っていききたい、としたほか、日本ドラマや映画とのタイアップも考案している模様。



Musicの部、鼓鼓によるパフォーマンス

48年続く子供たちの日台交流



台湾と日本の子供たちの対面

(前列左から葉家彰會長、戎義俊處長、棟久裕文理事長) 台湾の子供たちを北九州市のホームステイに迎える対面式が8月3日、台北駐福岡経済文化辦事處(戎義俊處長)で行われた。

福岡県の北九州青年会議所(北九州JC: 棟久裕文理事長)と台湾の台北市国際青年商會(台北JC: 葉家彰會長)は1970年に姉妹締結して以来、毎年交互に両国の児童をホームステイに「受入れ」「送出し」を行ってきたが、今年は北九州市側が受け入れる番で、台湾から10人の子供たちが来日した。

この事業はIFP(インターナショナルファミリープロジェクト)として、1970年以来48年間毎年途切れる事なく実施されており、これまでのプロジェクトの参加者は1000人を超える。昨年はプロジェクトの内容が評価され、西日本国際財団アジアKids大賞を受賞した。子供たちが言葉の壁を乗り越えて、食事や共同作業を通じた交流で、相互の歴史・文化・風習など

の相違点を体感し、他国への興味を深めるとともに、自国の良さに気づき、相手との友情を育むなど、豊かな国際感覚を養う事を目的としている。

対面式で挨拶した戎處長は、48年間もの長きにわたってこの事業を継続している両JCの苦勞をねぎらうとともに、子供たちやホストファミリーに向けて「縁は異なるものの味なもの」という諺を引用して、人と人、地域と地域、国と国との間には、小さな微々たるきっかけから育った友情で強く結びつく事、小学生の頃からこのような交流の機会を持つ事は非常に貴重な経験となり、必ずこれからの人生の役に立つはずだと述べた。

北九州JCの棟久理事長は、台北JCの関係者とIFPキッズの子供たちの来日に歓迎の意を表するとともに、子供たちにはこの6日間を楽しみ、出会った人々との絆を深め学んで欲しい、また、ホストファミリーには、お世話をよろしく願いたい、と述べた。

一方、台北JCの葉會長は、今回福岡辦事處がこのような対面式の場合を用意してくれた事にまず感謝し、次いで台湾から参加した子供たちには、「このイベントを通して日本の文化を体験して欲しい。ホストファミリーの心も同時に感じてほしい、素敵な思い出をたくさん作っ

て欲しい」と述べた。また、9月9日に台北JCが60周年の記念式典を行う事に対し、「多くの方に台湾へ来てもらいたい。このような交流を通じて両JCの絆が続いていく事を望む」と結んだ。

第48回IFPの日本側団長の藤井 亮氏は、まず受け入れてもらうホストファミリー並びに送り出してくれた台北の方々には謝意を述べるとともに、子供たちに対して、今回のテーマを「友情の輪」としている事と5泊6日の期間に、面白い事だけでなく、「オヤッ？」と思うこともあるかも知れないが、それらのすべてを含めて「最後はみんなで大きい友情の輪を作ろう!そしてこのような素晴らしい出会いを作ってくれたお父さん、お母さんに感謝しよう!」と呼びかけた。

台湾側団長の儲喻如氏は、自分がIFPに携わって8年目になるが、このような正式な対面式は初めての経験であり、これを用意して頂いた関係者への深い感謝を示すとともに、ホストファミリーや北九州JCの仲間と一緒に子供たちの一生の思い出と、絆を作りたいと述べた。



対面式の最後は、子供たち同士で美味しいお弁当に舌鼓み

蔣進興氏 アミ族の音楽を日本に伝える

台湾原住民馬蘭アミ族(以下:アミ族)で第二代馬蘭吟唱隊のリーダー蔣進興氏とそのメンバー滔滔さんがこのほど来日し、「蔣進興と馬蘭アミ族古謡の集い」を8月27日、台湾文化センターで行った。来場者全員と一緒に輪になって踊るなど、アミ族の伝統歌の楽しさや美しさを日本人来場者に届けた。

アトランタ五輪で歌が使用され一躍有名となった馬蘭吟唱隊初代リーダーの故・郭英男氏の長男である蔣氏は、アミ族の伝統を現代に受け継ぐため各地での公演活動に力を入れている唄い手だ。

当日ステージでは、故・郭氏が作曲した「拜把兄弟」や日本統治時代の曲など約12曲を熱唱。また、一緒に来日していた蔣氏の親戚も壇上に上がり、蔣氏の唄に合わせたアミ族の踊りも披露した。来場者は言葉がわからなくとも、アミ族伝統曲の独特な音楽に魅了され、手拍子や一緒に踊ったり、常に笑顔が溢れていた。

来場した40代女性は、「すごく楽しかった。現地だったからこそと迫力があるのだろうな。原住民の唄を聞きに現地に行ってみました」とコメント。

なお、蔣氏の今回の来日は、会社員である品川真紀さんが5年前より原住民伝統古謡に興味を持ち、原住民について学んでいる際に蔣氏と出会った事がきっかけだった。品川さんによると、蔣氏がかねてより日本での演奏を熱望しており、「どうか台湾原住民の歌を広める架け橋になりたい」との思いが



アミ族の歌や文化を教えてくれた(左から滔滔さん、蔣進興氏、品川真紀さん)



来場者全員が輪になってアミ族の踊りを楽しむ、日本で演奏できるよう手掛けたそうだ。前日の26日には、大阪での公演も成功させている。

一方蔣氏は、曲の合間にアミ族の風習についても話した。男性が女性の家に婿入りするため、父親との苗字が異なる事や、さらに無事を祈る際、お酒を飲む前に一口目はまず先祖の霊に捧げる儀式があるとし、演奏前にはその儀式も披露した。また、アミ語には「ありがとう」や「さようなら」などの言葉がなく、言葉が少ない代わりに歌や踊りで表現する文化があるという事なども伝えた。その通り、歌や踊りで日本人来場者がアミ族への理解を深めたイベントだった。

昼からZOO～っと「ズーラシア夜市」! 動物園に台湾夜市が登場



会場の様子は毎年

夏季に開催しているナイトズーラシア(閉園時間を通常の16時半から20時半まで延長し、夜の動物たちを特別公開)の一環で行われ、8月の休日及び祝日に開催された。

同動物園と台北市立動物園は昨年10月、動物管理及び動物学に関する知識・技術交流や野生動物と生物多様性の保全を進める事を目的とした持続的な協力関係(パートナー動物園)を構築するための覚書を締結し、同企画はその1周年を記念したイベントである。

こころ広場では、台南式魯肉飯や小籠包などのグルメや台湾雑貨の販売がされているほか、台湾伝統文化である「花布」を使

用した装飾や、台湾の「迪化街」にある創業102年の老舗提灯屋から調達した提灯での演出は、まるで台湾夜市をイメージさせた。

台湾雑貨を販売している「台湾好子」は、花布を使用したエプロンやバックを日本のデパートや駅の特設スペースでの販売を主としており、蔡信賢社長は、「動物園での販売は初めて。いつもと違う雰囲気なのでこのような経験ができて嬉しい。家族連れが多いので、大きいバックを求める方が多い」とコメントした。

一方特設ステージでは、二胡奏者の酒井和嘉子さんや、里地帰氏などほかアーティストが日別で登場し、さまざまなパフォーマンスで会場を盛り上げてくれた。

さらに、台湾の物園に関するクイズに答える「クイズラリー」も実施し、3問以上答えて特設ゴールにクイズラリー専門用紙を持ていくと、抽選で台北市立動物園のノベルティが貰えた。

よこはま動物園ズーラシア事業推進係の佐野太一係長によると、同イベントに際し、クイズラリーのプレゼントに使用したノベルティや、ゴール付近のパネル展示資料などはすべて台北市立動物園から提供されたものだという。佐野さんは、「今後も両園交流を続け、珍しい動物の交換などを行っていききたい」と話した。

プラスの力になる



年間定期購読

毎月第1月曜発行

台湾新聞

続けて読むから「台湾」が解る台湾のとれたて情報を毎月お届け。

お得
01

送料無料でお届け!

お得
02

1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)～
お申込み窓口(TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0047)まで

メールでも受付中!(info@taiwannews.jp)

★手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店
(普) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)

營業時間: 週一～五 9:30～18:30・週六 9:30～13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながる
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄 スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU 貴金属
-------------	-------	------	----	------------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN

TEL 0297-30-3308(代表) FAX 0297-30-3309
本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

仙台で初の大規模台湾イベント開催

仙台で初の大規模な日台交流イベント「リトル台湾 in 仙台 2017」が9月30日と10月1日の2日間、仙台市勾当台公園市民広場(円形広場含む)で開催される。同イベントは、東日本大震災時に、どの国よりも早く約200億円もの支援をしてくれた台湾に、被災地から恩返しをしたいとの思いから企画されたもの。会場では、台湾の観光名所の九份や夜市の様子を演出し、来場者が本物の台湾文化を体感し、台湾への興味を喚起する「リトル台湾 in 仙台 2017」「リトル台湾」を創出する予定。仙台市と交流促進協定を締結した台南市からも文化ブース、飲食ブースを出展するほか、割包、茶葉蛋、虱目魚丸、花枝丸、棺材板、冷熱水など仙台ではなかなか味わえないような台湾グルメも揃う。台湾からのアーティストやゆるキャラなど招聘してステージも充実させる。また、仙台に住む日本人が東日本大震災からの感謝の意を表し、台湾の食材と宮城県内の食材を融合させた飲食ブース展開も予定されている。



問い合わせ↓
リトル台湾 in 仙台2017実行委員会 Tel:080-1689-8686

六本木アートナイトに鄭弘敬氏の作品登場

六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2017」が9月30日～10月1日の2日間開催され、台湾人アーティスト・鄭弘敬氏の作品も展示される。鄭氏が出展するのは、安定した自分自身の日常生活に違和感を感じた事から制作したシリーズ作品“台北無聊風景”。同作品は、台北で生活している友人の協力の下、生活中に起こりうる少し変わったシーンを再現し、撮影したもの。なかには道端で会った人を撮影したものもあるという。鄭氏によると、日々撮影する日常に潜んでいる、愛くるしい瞬間と台湾の文化がイメージの中で共鳴する作品だそうだ。なお、同イベントの今年のテーマは、「未来ノマツリ」。人々が集い非日常的な体験を共有し、文化を未来へ伝えるとの意味が込められている。さらに、今回初の試みとなる「東南アジア・プロジェクト」では、東南アジアのアーティストや東南アジアにゆかりのある日本人アーティストを招聘し展示するなど、今年のアートナイトは国内外で活躍する気鋭のアーティストが集結し、夢のような一夜を展開する。



六本木アートナイト開催(写真提供: Photo by Mika Ninagawa)

問い合わせ↓
六本木アートナイト実行委員会(ハローダイヤル): 03-5777-8600

第7回 国際紅白歌合戦、台湾人も参加

国際紅白歌合戦が10月9日、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールで行われる(15:15-18:30)。同イベントは、日本人が外国語で、外国人が日本語で歌う事により国際交流と相互理解を図るための歌謡イベント。何とか日本の社会を明るくしようと頑張る在日外国人や将来を日本に賭ける留学生らと国際交流に興味のある日本人とが共に作り上げていく新しいタイプの歌合戦だ。例年約50人の台湾人も参加している。「台湾の人たちは毎回大勢おられます!中国語を話す日本人と中華系外国人の団体のパフォーマンスはとっても楽しくて毎回大人気です!イベント終了後は、1時間、フォトセッションの時間がありますので、自由に出演者とも交流が可能です」(国際紅白歌合戦実行委員会・宮崎計実代表)。チケット購入希望者はこちらから→ <http://peatix.com/event/209997>
問い合わせ↓
国際紅白歌合戦実行委員会
Mail: info@yokosojapan.net
Tel: 070-5653-1493



2016年開催の様子

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で15組30名様に、「第7回国際紅白歌合戦」の鑑賞券をプレゼント致します!応募方法は、下記メールアドレスに、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選された方には、メールでご連絡させていただきます。
締切り: 9月20日
台湾新聞編集部
E-mail: info@taiwannews.jp

「アニキに恋して」キャストが来日!

台湾で2015年10月の放送開始より最終話まで常時高視聴率を記録した台湾ドラマ「愛上哥们(アニキに恋して)」。同ドラマのキャストによるファンミーティングが8月12日、習志野文化ホール(千葉県習志野市)で開催されるに当たり、杜子楓役の陳楚河(パロン・チェン)、琵琶諾役の賴雅妍(メーガン・ライ)、楚哲瑞役の邵翔(ショーン・シャオ)、廖廣超役の楊銘威(ヤン・ミンウェイ)が来日した。なお、同ファンミーティングは「『アニキに恋して』Bromance Asia Fan Meeting」の一環であり、第一回として昨年3月に台北で、第二回として昨年11月に大阪でファンミーティングを行い、今回の東京公演は三回目となった。

ほか3人のキャストは、緊張しながらも期待を膨らませた様子だった。また、撮影で大変だった部分に関して、賴雅妍は「陳楚河とのアクションシーンが多々あり、力を使うため大変でした」と話した。楊銘威は「ある女性のために走り続けたり、その女性に毎日叩かれるシーンがたくさんあって大変だったな」とコメントした。なお、賴雅妍によると、「このドラマはラブコメディ。ラブストーリーでもありコメディでもあるため、撮影現場ではみんな楽しく撮影できたのは良い思い出となった」という。同ドラマは、賴雅妍がとある理由から26歳の誕生日まで男として生きていき、女である事を隠しながら男の陳楚河と恋に落ちていくというドキドキハラハラな物語。日本では、今年7月より毎週日曜日、ホームドラマチャンネルで一挙放送中だ。

Q: もし、またこの映画を撮影するとしたら、誰役になりたい・・・?



陳楚河: やっぱ自分。今回のキャストはみんなはまり役だと思う。
賴雅妍: 邵翔。毎日可愛い動物と一緒に撮影できるから。動物は常に動いているから撮影しにくい部分があるけど(笑)。
邵翔: 廖廣超。常に笑わせてくれる役だから。
楊銘威: 次も自分で、この役を僕より上手にこなせる人はいない!

『イタズラな Kiss ~ Miss In Kiss』ディノ・リーとウー・シンティ来日記者会見

シリーズ累計の発行が3500万部を超える伝説的なコミックが原作となり、日本、台湾、韓国など数多くの国でドラマや映画となった胸キュンラブストーリー「イタズラな Kiss(=以下: イタキス)」が2016年12月に台湾で12年ぶりにドラマ化された。その後、「イタズラな Kiss ~ Miss In Kiss」というタイトルで今年8月2日、日本版 DVD-BOX1が発売された。このリリースを記念して8月4日、主演の李玉璽(ディノ・リー)と呉心緹(ウー・シンティ)が都内ホテルで来日記者会見を行った。同記者会見では、元祖最強ツンデレ男子入江直樹役演じる李玉璽と、一途なポジティブ女子相原琴子役演じる呉心緹が同作品についてのトークとプロモーションを行ったもの。

ような男は嫌いだ」と回答し、記者らを笑わせた。李玉璽によると、台本を見た瞬間時々、「こんなセリフあり!?大丈夫なの?」と思うセリフがあったが、それでもその役を演じなければならぬので、自分なりに考えながらツンデレ男子に挑戦していったそうだ。一方呉心緹は、台湾で最初のイタキスが放送された時はまだ中学生で、「どんなに眠い時でも絶対に見終わってから寝る」というくらいイタキスが大好きで、主演に決まった時はワクワクした気持ちでいっぱいだったそう。しかし、実際の撮影に入る時にはプレッシャーも感じ、脚本を読み込み、台湾や日本各国のイタキスのドラマや映画を見て練習したと話した。なお、一番恥ずかしく緊張したシーンとして、二人とも「初めてのキスシーン」を挙げた。呉心緹は前の晩から緊張して、本番も緊張すぎて李玉璽の顔を全然見れなかったそう。一方、李玉璽もすごく緊張はしていたが、自分よりも緊張している呉心緹を見た瞬間、逆に落ち着いたという。記者会見中も終始緊張している様子が見受けられ、可愛さがまだ残る若手俳優の李

玉璽と呉心緹。二人とも日本が大好きでプライベートでは何度も日本に来ているそう。呉心緹は「日本滞在中にお寿司が食べれたら良いな」とコメント。こんなキュートな二人が演じる胸キュン連続の同作品に期待が集まる。なお、李玉璽と呉心緹は8月6日にシネマート新宿でDVD ファンイベントを行い、ドラマに関するトークやプレゼント抽選会などが実施された。



「イタズラな Kiss ~ Miss In Kiss」李玉璽(右)・呉心緹

台湾文科省、淡江大学 共同企画

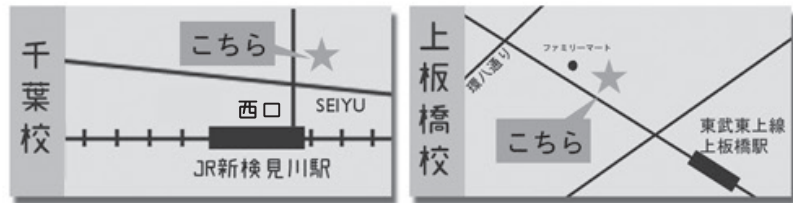
気軽に楽しく学べる中国語レッスン!

すぐ使えるらくらく実用的なフレーズ!

経験豊富な台湾出身のネイティブ教師による授業!

中国語速成会話講座 学員募集中

只今一週目 無料体験実施中!



お問合せ

新富中国語教室(担当: 陳)
TEL: 080-4109-5488
FAX: 03-5836-6536
Eメール: shintomi.cl@gmail.com

主催: 新富中国語教室 後援: 日本千葉台湾商会

※企業並び団体の要求に合わせて、オリジナルレッスンにアレンジすることも可能です。お気軽にお問合せください。

新収入保障保険プラン!! 経営者にとってのリスクは死亡だけでなく、障害や要介護状態になった場合も考えられます。

★14社の生命保険商品を駆使し、お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします



収入保障年金・高度障害年金		生活障害年金・生活介護年金 特定就労不能障害年金	月額40万円
45歳ご契約 保険期間・保険料払込期間 65歳満了			
【ご契約例】			
●ご契約年齢・性別: 45歳・男性			
●保険期間・保険料払込期間: 65歳満了			
●保険契約の型: III型			
●最低支払保証期間: 5年			
●基本年金額: 40万円			
●保険期間・保険料払込期間: 終身			
●年払保険料: 371,640円			
経過年数	年金受取総額	一時金受取額	
6年目	72,000,000円	64,070,400円	
10年目	52,800,000円	48,579,600円	

【年金のお支払事由が生じた場合、以後の保険料のお払込みは不要です。】

ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適の保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階
[担当] HOSAKA
[直通TEL] 090-4748-8335
[本部] TEL: 03-5288-5354
FAX: 03-5288-5359

(株)リンクサポートグループ(本部)
全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店



Digest News / August 2017

Aug.3 北門広場が完工、緑地約3倍に

130年の歴史を持つ国定古跡・北門を中心に据える北門広場の整備工事が終了した。約2370㎡だった緑地は約3倍の約6865㎡に拡大。周辺には、旧台湾総督府鉄道部庁舎など日本統治時代や清時代などの建物が多く残り、異なる時代の歴史を感じる憩いの場になるとしている。なお、台北市政府は供用開始を祝う式典を行い、柯文哲市長は「近代台湾の歩みを見届けてきた北門は、台北の新しいランドマークになる」と喜びを語った。北門は清の時代の1884年に台北府城の正門(承恩門)として建設されたもので、5カ所設けられた門のうち、当時の原形をとどめている唯



一の門でもある。周辺には日本時代の建物も残っており、異なる時代の歴史を感じる憩いの場になるとしている。なお、台北市政府は供用開始を祝う式典を行い、柯文哲市長は「近代台湾の歩みを見届けてきた北門は、台北の新しいランドマークになる」と喜びを語った。北門は清の時代の1884年に台北府城の正門(承恩門)として建設されたもので、5カ所設けられた門のうち、当時の原形をとどめている唯

Aug.6 民進党本部に強盗、韓国籍の男逮捕

民進党の党本部から現金9万余元りを盗んだ疑いで、警察は逃走を続けていた韓国籍の男を逮捕した。民進党本部は2日、現金が盗まれたと警察に通報。警察は容疑者とされる韓国男性の身元を特定した。警察の調べによると、男は盗みに入った1日のフライトで日本に向かったものの、窃盗常習犯であるとの理由から入国を拒否され、台湾桃園国際空港に送還さ

れた。3日深夜に閉鎖中だった出入国審査カウンターをすり抜けて逃走したという。警察は6日、男が潜伏する新北市烏来区の温泉旅館で容疑者の恋人とみられる韓国女性を発見したが、男は姿を消しており、警察は周辺の山一帯を捜索。同日空き家に潜んでいた男を発見し、身柄を確保した。

Aug.7 モスバーガーのフライドポテト、販売中止

台南市内にあるファストフード店「モスバーガー」の3店舗から、緑に変色した冷凍フライドポテト90キロ余りが見つかった事件で、台湾でモスバーガーを展開する安心食品サービス、フライドポテトの販売中止を発表した。その後台南市政府衛生局衛生福利部食品藥物管理署は、該当するフライドポテトに対し天然毒素・ソラニン基準値の検査を行ったが、基準値未満だった事を報告。しかし、商品の変色は「一般食品

衛生標準」の規定に違反するとし、期限内の改善を業者に求めた。なお、きっかけとなったのは6日、インターネット上で、市内の店舗で購入したという緑色に変色したフライドポテトの写真が投稿された事による。同局は市内にある8店舗の立ち入り検査を開始したところ、3店舗で見つかった緑色のフライドポテトはいずれも今年4月30日に製造されたものだった。

Aug.7 WBSC、U12 準優勝

ベースボールワールドカップ(WBSC)、U12(12歳以下)の決勝戦が台南市で行われ、米国と戦った台湾は、7-2で敗れ準優勝となった。台湾と米国は2日に行われたスーパーラウンド戦においても一度対戦しており、台湾は16-2の5回コールドの圧勝で、米国を破っていたが、決勝戦では惜しくも敗れた。一方、台湾メディアによると、台湾チームは試合終了後、泣き崩れていたが、その後球場を回り観客とハイタッチした際、ほかの国のチームやコーチが人間アーチを作り、台湾チームを応援し励ま

したという。なお、開幕式では個人賞とオールワールドチーム(ベストナイン)が発表。泣きじゃくるU12の選手らと、最優秀投手と先発投手に趙佳誠が、最優秀守備投手と捕手に白振安がそれぞれ受賞した。



Aug.7 話題になった子犬は野良犬と発覚

澎湖馬公市の十字路で、交通事故に遭った飼い主の帰りを壊れたスクーターの前で待ち続けてもう1週間になったと話題になっていた黒い子犬が、実は野良犬だった事が発覚した。事の発端は7月31日に同場所で行われたスクーターと乗用車の追突事故。スクーターを運転していた女性は足にけがを負い、病院に運ばれた。事故発生時には現場に子犬の姿はなかったが、警察

が事故現場の調査を終えると、その子犬はスクーターに住み着いていたため、「炎天下のなか飼い主を待ち続ける忠誠心溢れる子犬」とネット上で広がった。さらに、子犬を心配した近隣住民もドッグフードなどの餌を与えていたという。なお、この一連を耳にしたスクーター持ち主の娘が、「これは何かの縁である」とし、子犬を引き取ったという。

Aug.15 経済部の李部長、大規模停電を受け辞任

台湾経済部・部長の李世光氏が引責辞任した。原因は、同日夕方に大規模停電(815全台大停電)が発生した事による。この停電により、台北を含む17県市で、全体の半数近くの約668万世帯が被害を受けた。経済部によると、桃園の大潭発電所に天然ガスを供給する公営企業「台湾中油」の職員が機材を入れ替える際の操作ミスにより、約2分間、天然ガスの供給が中断された。これにより、燃料を受給している台湾電力の発電機全6基が停止し、約5時間にとわたり停電したものの。停電後に行われた記者会見において、李氏は国民に対し深く頭を下げ、「最後まで責任を持って対応する」と述べたとともに、行



記者会見の様子(写真提供:自由時報) 政院の徐國勇スポークスマンにより、李氏の辞意が行政院の林全委員長に受理された事が発表された。なお、後任に經濟部政務・次長の沈榮津氏が、經濟部長代理を引き受ける事となった(8月30日現在)。

Aug.15 日本人パスポート、残存有効期間緩和

外交部は、日本人が台湾にビザなしで入境する場合に必要なパスポートを従来「3カ月以上」から「予定滞在日数以上」に緩和すると発表した。外交部領務局の鍾文正副局長によると、日台の友好関係と平等互惠を考慮した上での措置だとし、「日本人観光客がさらに台湾に訪れ易くなり、相互往来促進に繋がれば良い」と述べた。台湾と日本は滞在日数が90日以内

の場合にビザを免除する措置を相互に実施しているが、台湾側のみが入国時に求められるパスポートの残存有効期間について「3カ月以上」との制限を設けていた。なお、台湾のビザ免除対象国は59カ国。そのうち、「予定滞在日数以上」とする優遇措置を提供しているのは米国と日本のみである。

Aug.16 秋刀魚、金鼎奨雑誌部門で受賞

台湾独自の観点から日本文化を紹介する中国語雑誌「秋刀魚」が「第41回金鼎奨」で、雑誌部門の生活雑誌作品賞及び編集長賞を受賞した。同雑誌を手掛けるのはわずか5人の雑誌愛する若者。出版などの知識はないが、各々数多くの雑誌を読み込み、知識を培ったという。さらに、表紙のデザインや内容等が毎回相違し、決まったスタイルがないため、毎回時間

を費やし工夫しているとの事。今回の受賞を受け、発行人の鍾听翰氏は「とても感動」と話した。台湾メディアによると、創刊してよりちょうど3周年、今回賞の獲得は今までの努力が皆に評価されたとしている。同雑誌は、ライフスタイル、芸術、設計、歴史など多様なテーマをもとに隔月で一回発行している。

Aug.22 食用鶏卵からフィプロニルが検出

彰化県の養鶏場3カ所で生産された食用鶏卵から、殺虫剤成分の「フィプロニル」が検出された。台湾ではこれまで、鶏卵におけるフィプロニルの残留検査を行っていなかったが、EU(欧州連合)各国で、フィプロニルの基準値超えの問題が発生した事から、行政院農業委員会(以下:農委会)は自ら、養鶏場でモニタリング検査を実施した。EUの基準数値5ppbを基準とした結果、45件のサンプルのうち

3件で基準値を超えた。これを受け農委会は、台湾全域抜き取り検査を行い、1451件中44件が不合格だとし、不合格率が約3%である事を発表。内訳をみると、彰化県(13件)・高雄市(8件)・台南市(8件)の3都市に集中していたという。そのなかでも、連成牧場の鶏卵の残留量は153ppbと数値が非常に高く、一刻も早く原因を突き止め、対応を急ぐとしている(8月30日現在)。

Aug.22 桃園空港、空港使用料を改定

桃園国際空港は、航空会社を対象に徴収する空港使用料を、9月1日から改定すると発表した。各航空会社が支払う金額は平均で約2割増加する見通し。同空港は改定1年目で4億円の増収を見込む。なお、今回の料金改定は1996年以来だとされている。同空港は、現行の料金は近隣諸

国の国際空港と比較して大幅に低く設定されている上に項目が複雑で、ピーク時とオフピーク時の価格差もなかったと説明。使用料は値上げとなるものの、近隣諸国の主要空港よりは低い水準に抑えられるほか、改定後の着陸料はオフピーク時には現行より安くなる。

Aug.23 台湾テレビ番組賞、ノミネートリスト発表

台湾のテレビ番組賞「電視金鐘獎」の2017年度のノミネートリストが発表された。台湾を代表する監督や俳優を集結させたドラマシリーズ「植劇場」の作品が最多9部門に24項目ノミネートされたほか、高視聴率を叩き出した「通靈少女」がミニドラマ作品賞など6部門にノミネート。長編ドラマ主演男優賞には、植劇場の第1作目の「恋愛沙塵暴」で主演を務めた呉慷仁がノミネートされたほか、個人賞では、藍正龍、SpeXialの宏正、楊丞琳、林予晝、



楊貴媚らが、さらに監督賞には日本人の北村豊晴監督がノミネートされた。なお、台北市内で行われたノミネート発表会見には、呉慷仁や、昨年長編ドラマ主演女優賞を獲得した柯佳嬿が出席。授賞式は9月30日、台北市の国父紀念館で開催予定だ。

Aug.24 エバー航空、新制服発表

エバー航空は、11月より導入する客室乗務員や地上係員らが着用する新制服を発表した。台湾のファッションブランド「Shiatzy Chen」と協力して製作したもので、2015年からプロジェクトを開始。通気性や速乾性がある、静電防止のための炭素繊維を混紡した、高性能のファブリックを開発した。さらに、映画「ローマの休日」をヒントとし、レトロなイメージと高級ファッションのトレンド感を取り入れ、トルマリングリーン、ベルデライトをベースカラーとし、スタイル、快適性、機能性



を考慮して設計したという。一方、女性用制服にはスカートではなく、スカートを新たに導入。生命力みなぎる木々をイメージした華やかな柄が特徴で、繁栄を続ける同社の精神を象徴しているという。なお、2代目である現在の制服は2003年に導入したもの。

Aug.25 馬英九前総統、無罪

台北地裁は台湾政界の司法介入疑惑を巡る捜査情報を外部に漏らした機密漏えい罪に問われた前総統の馬英九氏に無罪を言い渡した。馬氏の代理人によると、「判決を聞いてほっとした。この判決は個人の権益に関わるだけではなく、憲法上、総統があるべき姿である。今後職を降りた総統は、意味の無いごたごたに巻き込まれないよう、在任中に安心して憲法や国を作っ

てほしい」と述べているという。馬氏は総統在任中の2013年8月、政敵だった当時の王金平立法院長の司法介入疑惑に関し、検察トップから得た捜査情報を当時の江宜樺行政院長に漏らしたとして今年3月、在宅起訴された。判決は、馬氏が情報あるべき姿である。今後職を降りた総統は、意味の無いごたごたに巻き込まれないよう、在任中に安心して憲法や国を作っ

Aug.25 福衛5号、打ち上げ成功

台湾初の高解像度リモートセンシング衛星「福衛摩沙衛星(以下:福衛5号、フォーモサット5号)」が現地時間午前11時51分、米カリフォルニア州のバンデンバーク空軍基地からファルコン9ロケットで打ち上げられた。福衛5号は約11分19秒後に分離され、打ち上げは成功した。研究開発したのは、台湾の宇宙開発政策を担当する「国家太空中心(国家宇宙センター、NSPO)」。国内企業や国立中央大学など50以上の機関からなる産学共同研究チームが、6年の歳月をかけて開発したという。総経費は約56億5900万元に達したとしている。なお、軌道に乗った後は1日で地



福衛5号打ち上げ成功! (写真提供:自由時報)

球を14周し、2日に1度のペースで台湾の上空を通過、解像度2メートル級の観測データを送信する。これらのデータは防災や環境監視、国土の安全保障、テクノロジー外交、宇宙研究などに役立てられる。

Aug.28 台湾大手百貨店「太平洋 SOGO」を商標変更へ

遠東集団が出資する台湾大手百貨店会社、太平洋崇光百貨は今年で開業30周年を迎えるのに伴い、9月1日より、百貨店の商標の「太平洋 SOGO」から「遠東 SOGO」に変更すると発表した。社名の太平洋崇光百貨はそのまま継続して使用する。崇光百貨は1986年に台湾の太平洋建設が

51%、日本のそごうが49%を出資し設立され、2002年に遠東集団の100%子会社となった。現在では台湾で計8店舗を展開しており、昨年の店舗別売上高では、「台北忠孝館」が148億元に登り、台湾全百貨店の中で1坪当たりの売上高が最も高かったという。

(元=ニュー台湾ドル)

臺灣新聞社

共同企画ツアー

もっとコアな台湾旅行
しませんか?

TAIWAN
TRAVEL

■資料請求、お問い合わせ先

①飛ジャンピングツアー・台湾セクション 担当:阿部・石川
Add:〒105-0004 東京都港区新橋5-9-1 曽我ビル3F
E-mail:tabe@jumping-lao.com
Tel:03-3435-1811 Fax:03-3435-1800

②株式会社 臺灣新聞社
Add:〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 E-Mail:info@taiwannews.jp
Tel:03-5917-0045 Fax:03-5917-0686

■旅行企画・実施

エアーワールド株式会社 大阪府大阪市中央区内本町2-2-14-207
観光庁長官登録旅行業第961号 一般社団法人 日本旅行業協会正会員



台湾お祭り紀行

世界三大民族祭り! 台南・塩水ロケット(爆竹)祭りと台北4日間

- 旅行実施日:2018年2月28日(水)~3月3日(土)
- 募集人員:10名様(添乗員が同行御案内) ■ 利用航空会社:チャイナエアライン
- ご宿泊ホテル:台南 台南ホテル 台北 華国ホテル
- 食事条件: 朝食 3回 昼食 3回 夕食 2回(機内食は除く)
- 御旅行代金:¥154,800 ■ 一人部屋利用追加料金(シングル)¥23,500



台湾吉祥紀行

七福神ゆかりの地を訪ねる! 台湾吉祥紀行5日間

- 御旅行実施日:2018年1月12日(金)~1月16日(火)
- 募集人員:15名様(添乗員が同行御案内) ■ 最小催行人員:8名様
- 利用航空会社:エバー航空
- ご宿泊ホテル:高雄 高雄国賓ホテル 台中 全国ホテル 台北 華国ホテル
- 食事条件:朝食 4回 昼食 3回 夕食 4回(機内食は除く)
- 御旅行代金:¥124,800
- 一人部屋利用追加料金(シングル) ¥31,500



台湾離島紀行

歴史と文化遺産・史蹟と自然を訪ねる! 金門島と台北4日間

- 旅行実施日:①2017年10月21日(土)~10月24日(火) ②11月23日(木)~11月26日(日)
- 募集人員:各出発日 10名様(添乗員が同行御案内) ■ 最小催行人員:6名様
- 利用航空会社:チャイナエアライン
- ご宿泊ホテル<予定>:高雄 高雄国賓ホテル、金門島 滄江ホテル 台北 華国ホテル
- 食事条件:朝食 3回 昼食 2回 夕食 2回(機内食は除く)
- 御旅行代金:10月21日御出発 ¥158,000 11月23日御出発¥161,000
- 一人部屋利用追加料金(シングル)¥25,500

台湾楽声合唱団、初来日公演 ～ヴァイオリン奏者・蘇顯達氏も出演～



有名ヴァイオリン奏者・蘇顯達氏
合唱団が海外で公演できるのは本当に
すごい事。歌が上手、下手関係なく、
ひとりひとり歌う事に熱心であり、そ
の“情熱”がこの合唱団の強みだと
思いますと、同合唱団についての想いを語っ
てくれた。

台湾楽声合唱団がこのほど来日し8月27
日、28日、30日の3日間に渡り日本ツアー
を開催した。27日は台湾文化センター、28
日は横浜華僑総会、30日は愛知県の中京
大学での公演だった。同合唱団が日本で公
演するのは今回が初めて。

台湾楽声合唱団は、台湾大学のEMBA
合唱団(以下:EMBA)が発起し、台湾各地
から合唱を愛する人々が集まり結成された
合唱団である。美しい歌声を通じて、人と
人の絆と愛を伝えていく事を主旨に活動を
続けている。昨年9月には初めて海外に赴
き、米国ボストンとニューヨークで公演を
行い、今回は2回目の海外公演となった。

台湾楽声合唱団、美しい歌声が会場に響き渡った
初日に行われたステージでは、台湾代表
民謡曲「望春風」や、日本で流行した「千の
風になって」など約10曲を熱唱し、団員ひと
りひとりと奏でる歌声の美しさ、力強さに、会
場は圧倒された様子だった。

台湾大学名誉教授でEMBAの蔡揚宗名
誉団長は挨拶で、「高みを目指しながら練習
してきた。音楽を通して日台交流が深まる事
を期待したい」と話した。

なお、同演奏会には、今年の3月まで台
湾でEMBAに所属していた日本人の宮内
なおみさんも駆けつけた。同合唱団がアメ
リカや日本で公演が叶った事に対し、「上手
な合唱団は台湾にも沢山あるので、この合

EMBAは歌により学生同士の交流を促進
し、心身の教養を深めるため2003年に設
立。2009年より現在に至るまで40回以上
の公演を行っている。
一方、同合唱団以外に、台湾の有名ヴァ
イオリン奏者・蘇顯達氏も同演奏会に出演
し、「月亮代表我的心」、「涙そうそう」など全
7曲を披露した。蘇氏は、5歳の頃よりヴァ
イオリンを習い、フランス・パリの音楽学院
を卒業した。ヴァイオリンから引き出す多彩
な音色は世界でも認められ、現在まで33カ
国での演奏が叶っている。

ワンコインで学ぶ 台湾語講座開講

台湾文化と台湾語がワンコイン(500
円)で学べる講座がこのほど、浦和美園
駅直結の埼玉高速鉄道SRカルチャース
クールで開講した。

同講座は、「台湾語をちょっとかじってみ
たい」、「台湾旅行で話してみたい」という人
を対象に台湾の食文化や、台湾旅行のす
すめ、さらには台湾人と日本人の子育ての
相違などさまざまな観点から台湾の文化・
風習を中心に学びながら、内容に沿って
簡単な会話フレーズも学んでいくのが特徴。

開講初日の8月10日には28人の生徒
が集まり、予想人数を上回ったため、急
遽大ぎめの教室に移動するほどだった。
来場した生徒は、友達同士だったり子供
連れだったり様々だったが、みな「台湾
のイベントやグルメだけではない文化や言
葉を知ってみたい」という台湾に好印象を
持つ人ばかりだった。50代女性は
「台湾に一度旅行に行った事がある
が、必ずもう一度行きたいので、
講座に通って、少しでも台湾語が
わかるようになりたい」と話した。

なお、同講座は、日本生まれ日
本育ちの台湾人の周東孝一さんと
妻の李佳容さんが主催したもので、
ワンコインというリーズナブルな価
格と気軽に行けるのが特徴的な運
営形態でもある。

李さんは、「台湾文化を深く教えている講
座があまりないので、試しにやってみよう
と思って始めた講座。まさかこんな大勢の人
が来てくれるなんてびっくり」と話した。また、
李さんによると、同カルチャースクールを運
営している埼玉高速鉄道が協力的に宣伝を
行ってくれているため、同講座についての問
い合わせが多数あるとの事。

周東さんは、同講座は「月2回の半年間」
との契約となっているが、生徒の要望によっ
ては都内で開講するなど、今後の展開も考
えているという。

「同講座を通して、台湾語でお礼を言え
たり、台湾の友達が出来たり、日本と台湾の
友好が深まれば嬉しい」(周東さん)。

なお、周東さん夫婦は、同講座のほか、
基礎から教える中国語講座と日本在住の外
国人の日本語学習をサポートする講座も同8
月より開講している。



台湾語講座では皆声を合わせて発音練習



台湾ミュージカル映画「52Hz I love You
(52Hzのラヴソング)」の魏徳聖監督とキャ
スト3人(小玉・小球・米非)による来日ス
ペシャルトークイベントが8月19日、台湾文
化センターで行われた。メインキャストの舒
米恩も前日行われたイベント「台ワンダフル」
に出演するため来日していたが、同イベント
当日に九州でのコンサート出演により、出
席が叶わなかった。

同トークイベントで3人はまず、映画のオ
ファーを受けた当時の心境を語った。3人
とも映画初挑戦だったが、その初めての出
演が、台湾映画史上第一位の興行収入とな
った「海角七号 君想う国境の南」のメガホ
ンも取った偉大な魏監督の作品だったため、
3人とも驚きを隠せなかったという。小
球は、

最初同映画のテーマソングを歌うのだと勘
違いをして、「有名監督の作品の主題歌を歌
えるなんて、やっとこれで有名になれる!」
と思っていたら、脚本を渡され、自分が主役
と知って驚いたという。クランクインしても
あまり実感がなく、全部の撮影が終わってか
らようやく「あ、私映画で主役を演じてた
のだ」と実感したそう。

一方、キャスティングについて魏監督は、
元々「バンドのボーカル」を起用しようと考
案したため、「ボーカルだったら歌も歌え、さ
らにライブでは観客とおしゃべりしたりす
るため、雰囲気の良い創作も得意であろう。
その子たちを訓練して役者として育てる事
が一番の近道だ」との思いだったという。そ
の後、インターネットやYouTubeなどで彼
らの歌や雰囲気などを確認に確認を重ね、
キャスト

をこの4人に決定したと話した。

また、魏監督は演技を見たり接している
なかで、こっそり人の観察をするのが得意だ
という。それに対し小玉は「もうこっそり観
察しなくても、僕を直接見たら良いじゃない?
」とのアドバイスに監督は「もう小玉の観
察はしたくない」と拒絶、会場が笑いの渦に
包まれた。

さらに、米非は撮影中の裏エピソードを
明かした。バイクで歌いながら演技するシ
ーンがあるが、腰を浮かせながら歌って演
技し、しかも表情作りもしなければならな
く、非常に難しいため数十回はNGを出して
しまったとの事。

なお、魏監督によると、7割が歌いなが
ら演技する「現場収録」という形を取って
いるが、残り3割がスタジオで後から収録す
る

そうだ。

永瀬正敏がサプライズゲストとして登場

トークイベント終盤には、8月16日に
誕生日を迎えた魏監督にサプライズプレ
ゼントとして、日本の俳優永瀬正敏がケー
キを持って登場した。永瀬は、魏監督が
プロデューサーとして務めた映画「KANO
1931 海の向こうの甲子園」の野球部の
コーチ役として出演してより、交流がある
そう。驚いた様子の魏監督は「予想外で
びっくり。永瀬さんはいつも優しいんで
す」とコメント。さらにキャスト陣も、「映
画の中のコーチが現れた!」と感動してお
り、その感激のあまり小球が涙を浮かべる
場面もあった。

なお、永瀬が退場した後は、12月16日よ
り全国公開が始まる同映画の前売り券販
売も行われ、購入者は監督とキャストのサ
インがもらえる特典もあった。



スペシャルゲストの永瀬正敏(右)
が魏徳聖監督にバースデーケーキをプレゼント



魏徳聖監督といえば、台湾映画史上第一
位の興行収入を記録した「海角七号 君想
う国境の南」の監督にして、第48回金馬
奨で最多5部門を受賞した「セデック・バ
レ」も手掛けた大物監督として知られる。
魏監督はこのほど、自身が手掛けたミ
ュージカル映画「52Hzのラヴソング」の
日本PRのため来日。本紙は独占インタ
ビューした。
**Q:なぜ今回ミュージカルという形を取
ったのか?**

魏徳聖監督に独占インタビュー

A:実は自分でも意外でした。脚本を書
き始めた段階ではミュージカルにしよう
という設定はなかったんです。でも、この
物語はバレンタインデーの一日だけを描
写しており、とてもシンプルなものなので、
脚本を書いていく過程で、このストーリ
ーを台詞だけで表現すると、感情や内面
の描写の部分が不自然でした。「ひょっ
として音楽で表現した方がこの作品に
適しているのではないか」と考えミ
ュージカル映画に変更しました。普
段なかなか言えないような台詞も音
楽で表現する事で自然と心に入り、生
き生きとした表現にすることができま
した。

**Q:なぜ、映画全体をバレンタインデー
の一日に絞ったのか?**

A:特別バレンタインデーの一日に絞
りたかったわけでもないです。この映
画のストーリーの中で、脚本を書く前
からオープニングの部分とエンディング
の部分二ヶ所だけは決めていました。
オープニングには花市場が描かれ、お
花が咲いてきれいなシーンがあり、女
の子が花市場に来て花を買っていく。エ

ンディングでは主演の小玉演じるチョコ
レート屋と小球演じる花屋が最後レスト
ランの座席に座って、お互いを紹介す
る。この設定だとやはり一日の出来事
しかないんですよね(笑)。

**Q:映画の中でさまざまな境遇のカ
ップルが出てくるが?**

A:メーンのチョコレート屋と花屋の
物語は25年ほど前から僕の心の中に
ありました。当時は恋愛経験がなく、愛
に対する理想や憧れを持っていて、でも
、今はもう結婚し子供もいます。僕は
今、監督という夢を作っているような
仕事、妻は実は銀行員でどちらかとい
うと現実味が強く、この二人が一緒
になるという事は様々な問題が出てく
るんですよ。その直面している現実を
描いているのが舒米恩と米非が演じる
カップル。あきらめられない夢があ
って、それによって起こる二人の衝
突、妥協などを描写しました。また、
中年のカップルや同性愛者などが出
てくるが、彼らも立派なカップルであ
って、この映画では「それぞれのカ
ップルが、今日結婚式

を挙げ、今幸せなのだ」という事を伝
えたかったんです。

**Q:今回オリジナル曲17曲を使用し
ているが、映画と音楽を組み合わせる
上で大変だった事は?**

A:音楽の部分を担当する先生とコミ
ュケーションを取るのが大変でした。
このミュージカル映画では通常の映画
制作とは逆の手順を取っており、脚本
ができて、作詞、作曲、その後キャス
ティングするとの順番でした。音楽作
作にかかる時はまだ手元に脚本と歌
詞しかないため、「ここはこの曲がほ
しい」、「映画になった時はこうい
う場面になるんですよ」と伝えても
おまかなスタイルの事しか言えない
ので、「オープニングはディズニーの
リトルマーメイドのような曲が良
い」というように何度も伝え、音楽
の先生に理解してもらえるよう努力
しました。

**Q:日本統治時代を描いた映画の
監督やプロデューサーを務めている
が、監督自身は日本と台湾の関係に
ついてどう思うか?**

A:日本と台湾は親友だと思っています。文

化の面でも人間的にも密接な関係に
あります。今後良好な関係を維持して
いくためには、お互いの努力が必要に
なると思います。台湾はちっぽけな
国だけど、「弱いから仲良くしない」
ではなくて、弱い時こそお互いを
守っていく、これが親友の定義だ
と思います。



2人のインタビューは来月号に掲載予定!



台湾人百人百色

100年続く鳳鳴羊羹——翁瑞毅さん

文：林雅行(映画監督)

私は日本で寺の住職の友人が少なくない。寺の関係者は和菓子にうるさい。檀家の人が寺に持ってくるからである。中でも羊羹には一言二言ある住職が多い。だから土産を持って行く時には気を使う。私は台湾の蘇澳の羊羹を持って行ったところ「美味しい」とい

くつものお寺に喜ばれた。甘いもの好きの辛口で知られる住職が「日本の羊羹より甘さがおさえられ、さっぱりしている」と賞賛したほどだ。

さてこの羊羹。台湾が日本の植民地になった初めの頃に日本人が始めた。戦前の写真を見ると街を流れる白米川の橋の袂に店があった。当時の地図にもある。だが今は通り沿いだが少し駅寄りにある。1965年に移転したという。

この羊羹屋を始めた中村貞一という日本人。日本時代は蘇澳にも大勢の日本人が住んでいて — 南の漁港には日本や沖縄からの漁民も移り住んでいた — 商売繁盛だったようだ。

太平洋戦争が始まると中村さんは陸軍に入隊しフィリピン戦線に従軍した。主のいない羊羹屋は妻が切り盛りをしていた。その店で働いていたのが翁鳳鳴さんだった。翁さんは羊羹の作り方を習得していく。

終戦となり中村さんの妻は、日本に引揚げることとなる。その時、翁さんに店を譲った。つまり、2代目店主である。その翁さんの息子、翁瑞毅さんが3代目を継いだ。現在 75歳になる。

「私は中村さんの日本での消息を捜したが、判らなかった。だから交流はないのです」

と翁さんは言った。

この羊羹の名称は父の名をとり「鳳鳴羊羹」と名付けた。

「私は、別の仕事をしている。この羊羹づくりは、日本時代からの伝統技術を残していきたいと思ったからです」という翁さん。だが、伝統継承だけでなく、伝統を継ぐなかで改革も試みている。味も日本時代の小豆味に加え、台湾の烏龍茶や地元名産のキンカンを使った商品を開発し、水は冷泉(炭酸水)を使っている。

日本人の代からは100年を超える。

店では翁さんの息子が手伝っていた。彼が4代目になるという。「僕は今会社に勤めている。給料はすごくいい。いずれ父からこの店を任された時、今の給料のいい仕事をどうしようか考えている。だけど、この羊羹の店は続けていく。また、色々開発していきたい」と抱負を語ってくれた。

鳳鳴羊羹は固定客もついていて蘇澳名産として定着しているようで、店で取材をしている時にも、立ち寄る台湾人も多い。

蘇澳には、同じ通り沿いにもう1軒羊羹屋があり、こちらは30年位前から始めたという。そしてもう1軒は冷泉のすぐ傍にある店。4〜5年前から羊羹を売り出した。便乗かと思っ

たが、「鳳鳴羊羹が歴史もあって1番美味しいけど どの店も工夫している」と地元の人は言う。1人の日本人が生えた羊羹の種がひとつ花を咲かせているようで嬉しい気持ちになった。

早朝、市場を散策していると自転車に乗った翁さんに声をかけられた。駅近くのファスト



翁瑞毅さん

フード店で朝食を取っていたら翁さんもテイクアウトしていた。「何か困ったことがあったら私に言ってきて下さい」と優しい。

そこで翁さんの経歴はというと、日本の大手の映像・音響メーカーの台北工場長をやっていた。蘇澳ロータリークラブの会長、蘇澳港の青年会議所会長を務め、日本、沖縄との交流促進の立役者だ。八重山と蘇澳の青年会議所は、1981年に姉妹締結をしていて物産展開催やホームステイなど交流事業をしてきた。そしていま、蘇澳と沖縄の石垣市は姉妹提携している。

南方澳の漁船が日本の尖閣諸島に行く。石垣の漁船も。蘇澳の漁民は「魚釣島は私たちのもの」という意識が強く、日本の尖閣国有化に抗議するデモも行われた。翁さんは尖閣の領有権については、口にしない。「平和的な外交手段による解決」「台日外交優先」「中国大陆とは協力せず」という立場だ。

「小さな魚釣島のために争うのは日本にとっても台湾にとってもつたいない」。日本人としての翁さんの言葉をかみしめたい。(と言いつつ、鳳鳴羊羹も食べたい、です)。

てくてく台湾旅 ②1

松田義人(deco / 編集者・ライター)

日月潭の山間をスリリングなロープウェイで巡る

地上140メートルのロープウェイ

台湾でロープウェイとして最も有名なのは台北・文山区にある猫空ロープウェイです。北台湾屈指のお茶どころ、猫空へと簡単にアクセスできる上、高い位置から山間も望めるとあって、開通した際は日本人観光客の間でもおおいに人気となりました。開通当初は、行列必至でロープウェイに乗るだけでも一苦労でしたが、それから10年以上経った今は、イベントなどのない平常時であれば、さほど待たずに乗れるようになっています。

一方、台湾の景勝地の一つ、中部の日月潭にも7年前にロープウェイが開通しました。日月潭から、近隣のレジャースポット、九族文化村までの2キロ弱を繋ぐものですが、ロープウェイとしてのスリル、緑豊かな自然の景色を楽しむのであれば、こちらのほうが個人的にお勧めです。このロープウェイは2つの山を越えていくのですが、一番高い



日月潭ロープウェイ

ところで地上140メートルにも至ります。しかも、床がスケルトンのタイプもあります。高所恐怖症の人はまずヤメたほうが良さそうですが、移動とスリルを同時に味わいたい人にはお勧めです。

ロープウェイから眺める日月潭の絶景

日月潭ロープウェイは、日月潭側、九族文化村側双方から乗ることが出来ますが、片道・往復いずれかのチケットを購入します。ロープウェイの路線は大きくL字型になっている関係で、途中で中継地で乗り換える事になります。ただし、この中継地で一度降りてしまうと、「ちょっとトイレ……」「お土産でも見てから……」とか言って、乗り換え便にもう一度乗るにはなかなか至らず、改めて勇気が要るほどスリリングです。

なんだかんだ言いながらも、中継地から乗り換えるロープウェイに乗ると、広大な敷地を持つ九族文化村の風景が視界に入ってきます。九族文化村は、原住民文化を伝承するための舞踊ステージの他、遊園地としての様々なアトラクションもあり、老若男女誰もが楽しめるスポットです。日月潭の美しい景色を楽しみながら、原住民文化に触れ、子どもは遊具で遊べる意味ではかなり充実したスポットと言って良いでしょう。

しかし、九族文化村でさんざん楽しんだ後も、帰りもやっぱりロープウェイ。またあの怖いロープウェイに乗るかと思うと、ちょっと緊張しますが、行き同様に中継地で乗り換えると、やがて目前には最初に乗った日月潭付近の様子が近付いてきます。高い位置から見下ろす日月潭の景色は本当に美しく、あれほど怖がっていたロープウェイの高さも忘れてしまうほどです。

特に秋からのシーズンは山間の緑も美しく映り、空気も涼しくなるので、日月潭付近を観光される方は、是非行程を1日にとって、このロープウェイを体験して欲しいです。

Photo de TAIWAN 第九回

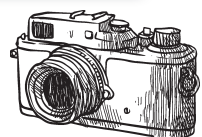
台湾在住20年写真家・熊谷俊之

日月潭水泳横断 南投

今年でなんと35回目を迎える、毎年9月に日月潭で行われる水泳横断大会です。泳ぐ距離は約3キロメートルに及び、台湾新三鉄(トライアスロン)の中の一種目に数えられています。私が参加した2012年は参加者が約28390人、ギネスブックにも載りました。



※本年より新たに写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」が始まりました。台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾を発見してみてください!



チョプラン漂流記 お船がかえる日

チョプラン島。それは台湾東に位置する秀姑巒溪(しゅうこらんけい)。1802年11月、箱館(現在の函館)の港から江戸に向かって出帆した順吉丸は、嵐に遭って舵を失い、南へ南へとながされてしまった。辿り着いたのは聞いた事もない「チョプラン」の地。主人公である8歳の少年の市松は、船頭の文助とともに、先住民の集落で生活を始めていく。そう、これは台湾東海岸の風景と、海がつかない交流の物語。

本書は、江戸時代の漂流記録をまとめた19世紀の台湾東部の事が書かれた史料「享和三年癸亥漂流臺灣チョプラン島之記(2011年台湾国立台湾図書館復刻)」をもとに、少年を主人公にして絵本仕立てに描かれたもの。

また、本書に登場する先住民(アミ族)の暮らし方や言葉などもこのチョプラン島之記に基づ

いているという。

さらに、本書の舞台となった秀姑巒溪の河口は、現在もまだ残っており、本書は著者の小林豊氏が何度も現地取材を重ね、書き下ろした力作である。そのほか、この5.6年で台湾の各地を回ったり、様々な史料を読んだ事も、本書に生かされている。

出版社によると、小林氏は、もともと日本の風土や歴史にも関心があり、なかでも東アジアの海の交流の歴史に興味を持っていたという。「絵本にする事で、海に関するこんな歴史があったんだ」という事をわかりやすく伝えていきたいとしている。

なお、小林氏が今までに執筆した本は台湾にも精通されており、聯経出版から14冊、小魯文化から3冊ほか多数出版されている。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で2名様に本書「チョプラン漂流記お船がかえる日」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(9月15日(消印有効))

株式会社臺灣新聞社編集部
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞245号読者プレゼント

応募券



文・絵：小林豊
刊：岩波書店
本体価格：1800円(税別)
判型：B4変判
頁：60ページ
発売日：2017/7/20



台北 「大稲埕」 ノスタルジックな台湾にタイムスリップ?!

大稲埕はで台北市でも古い市街地の一つ。1853年械闘に敗れた移民がパンカから逃れて開墾した移民集落で、迪化街を商店街の中心に、外国商人の全力の経営と清朝政府の通商港開放という二つのことから、淡水河の運輸の中継地として商店が多く集まり、お茶屋が林立し、加えてパンカの淡水河に土砂が堆積してきて、十九世紀末にはパンカよりも商業が盛んになりました。縁結びの神様・月下老人で有名な霞海城隍廟には今でも恋愛成就を祈る人々で賑わっています。また、現在はおしゃれなカフェや雑貨などもあり、若者にも人気のノスタルジックなスポットになっています。淡水河の河畔に位置する「大稲埕碼頭」(大稲埕埠頭)もロマンチックでデートにオススメ。



アクセス：MRT北門駅Y27出口より徒歩約7分、または中山駅から徒歩約15分。

基隆 「基隆廟口夜市」 海鮮グルメはここで!



ここは、色鮮やかな黄色い提灯に囲まれた夜市。基隆の仁三路沿いに開かれており、港町らしい海鮮料理が揃います!夜市の中には「奠濟宮」というお寺もあり、台湾現地の人々の憩いの場でもあります。

アクセス：台湾鉄道で台北駅から西部幹線で基隆駅下車。基隆駅から徒歩約10分。休業日：無休

宜蘭 「礁溪温泉」 台北から約1時間半!気軽に温泉観光

「礁溪温泉」は台湾平地温泉の一つ。電車に乗って、礁溪駅で降りればそこは温泉街!この温泉は、水素イオン濃度が7~8で、中性泉とされる弱アルカリ性。約50度の透き通った湯は無臭で、ナトリウム、マグネシウム、カルシウム、カリウム、炭酸を含み、肌が滑らかになるため「美人湯」と呼ばれています。また、訪れる人にも気軽に温泉を体験してもらおうと、たくさんの半屋外型足湯も設けられており、憩いの場となっています。台北旅行ついでに「ちょっと台湾東部の雰囲気も味わってみたい」という人にもオススメ!魚が足の裏の角質を食べてくれる「温泉魚」コーナーもありますよ!



アクセス：台北から台湾鉄道「礁溪」駅へ。

台東 「鹿野高台」 色とりどりの熱気球



気候に恵まれた台東では熱気球がオススメ。毎年夏季に台東県政府により熱気球フェスティバルが開催され、世界各国からの大勢の観客が集まります。熱気球はカラフルで素敵なデザインが沢山あるので、乗るもよし、眺めるも良しです!

アクセス：台湾鉄道「鹿野」駅から車で約10分。又は、トリップバス「台湾好行」の縦谷鹿野線で「鹿野高台」停留所下車。

Meet Colors! 台湾

カラフルな台湾を探しに行こう!!

彰化 「カリ善の樹」 雨でもハッピー☆傘がテーマの新施設



彰化の新しい人気スポット!元々は34年続く傘の製造工場。現在は、カラフルな傘の装飾がされた写真スポットが沢山あり、インスタ映えの写りが取れちゃいます。また、傘の絵付けなどのDIYもあり、子供も楽しめます。傘や雨をテーマにしたグッズも購入可能。

住所：彰化県和美鎮孝義路391巷5号 電話：04-7358038
営業時間：9:00-12:00、13:00-17:00 休業日：水曜、木曜休み

今行くなら 「客家ロマンチック街道」

今台湾で話題の観光といえば「客家ロマンチック街道」。これは、台湾を南北に貫く省道(日本という国道)の1つ「台三線」で通過する桃園、新竹、苗栗、台中に、約16ヶ所の客家集落がある事にポイントを絞って台湾政府から打ち出された新しい観光資源です。客家の生活や文化、自然生態、産業、観光を結びつけることにより、歴史ある「ロマンチック街道」が創出されており、新しい台湾の魅力を見つかることができますよ。



新竹 「北埔小鎮」干し柿と客家の文化を堪能

北埔は客家人が多く居住している集落で、客家伝統の家屋、寺院、廟を多数見かけます。そのうち、金広福公館や天水堂、慈天宮等は代表的な古跡です。中でも慈天宮は北埔の中央に位置し、住民たちの信仰の中心になっている観世音菩薩を奉ったお宮。素晴らしい建築は一見の価値があります。また、北埔の町には客家料理の店も多く、本場の客家の味に舌鼓を打つ事が出来ます。秋になると、北埔名産の柿にちなんで、「柿祭り」が開催されるほど、干柿も有名です。



アクセス：トリップバス「台湾好行」の獅山線で「北埔老街」まで。



台中 「新社花海」 花に囲まれロマンチックにお散歩

台中市「新社」地域は、標高350メートルから1100メートルの間に位置しています。気候に恵まれている新社は、花の栽培が有名です。客家の代表花である油桐花(アブラギリ)もいたるところで見ることが出来ます。また、毎年11月-12月には「新社花海」といったお花畑フェアも行われており、カラフルでロマンチックな花の絨毯が皆さんの訪れを歓迎してくれます。また、サイクリングやキノコ狩りを楽しむ事もでき、自然を感じられます。

アクセス：台中駅前から仁友客運、又は台中客運で中興行きのバスに乗り、新社で下車。



Taiwan
THE HEART OF ASIA

台湾観光局

台湾観光協会

東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階 TEL.03-3501-3591 FAX.03-3501-3586

大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル6階 TEL.06-6316-7491 FAX.06-6316-7398

中部連絡所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-19-14 林敬ビル4階 TEL.052-684-8188 FAX.052-684-8189



m.taiwan.net.tw



go-taiwan.net



台湾見つけ!

台湾観光情報やイベント情報配信中!